

ライオンズクラブ 今年もボランティア活動を実施



◎終了後、顕彰碑を囲んで

垂水ライオンズクラブは毎年、世界ライオンズ奉仕デーに合わせてボランティア活動を行っており、今年も、10月8日(日)に実施しました。今回は、郷土垂水市へキヌサヤえんどうを導入し、垂水の農業推進に多大な功績を残した「末田浅一翁顕彰碑」周辺の清掃・下刈り作業を行いました。

■垂水ライオンズクラブ

会長 藤野順人氏・会員 25名

■末田浅一翁顕彰碑

完成年：昭和45年 形状：キヌサヤえんどうの形
重さ：4ト 素材：ミカゲ石

■末田浅一翁

昭和初期、キヌサヤえんどうの種子を京都、広島、岡山方面から購入し、農家に貸付けて奨励し、また集荷販売も一手に引き受け昭和15年には、1日300かごを東京、大阪、神戸方面に出荷するまでになり、キヌサヤえんどう産地の基礎を築きました。※参考資料：市報たるみず(昭和46年5月15日発行)

第6回交通安全かかしコンクール

垂水市安全運転管理協議会



◎道の駅たるみずの足湯の前に、かかしがお目見え

毎年開催されている「かかしコンクール」が、今年も、道の駅で開催されました。コンクールに出品されたかかしは、主催者である垂水市安全運転管理協議会から、6月に各小学校に依頼され、全部で16体が出品されました。

冒頭にあいさつをした木場会長は、「今、飲酒運転などによる事故が多く報道されています。このコンクールを通して少しでも事故がなくなればと祈るばかりです」と述べました。

■コンクール結果

金賞 牛根小学校
銀賞 水之上小学校
銅賞 柘原小学校
設置日 9/21～9/30



金賞 銀賞 銅賞

秋の実りを収穫

水之上小学校



◎白山の文字が出現 ※市報の表紙もご覧ください。

市内のあちらこちらで稲刈りが始まる中、10月12日、水之上小学校で毎年恒例の稲刈りが実施されました。正門前の田んぼに植えられたのは、餅米、うるち米、黒米、赤米の4種類。また今年も、5年生の発案により、田んぼの中に黒・赤米で「白山」の文字を作りました。稲刈りに参加した全校生徒94名は、先生や指導員の説明を熱心に聞いたあと、一生懸命に稲を刈っていました。

遠矢校長は、「脱穀などの作業では、現在主流の機械を使った脱穀や江戸時代に使われたせんばこき、大正以降の足踏み式脱穀機などを使って行います。子どもたちには、この体験を通して、いろんなことを感じてほしいです」と話していました。

■水之上小のお米予定

10月12日：稲刈り ・ 10月末：脱穀
10月28日～29日：道の駅で販売
1月20日 学校でお米を味わう

垂水高校の地域美化活動

五感で感じて



1. 天気にも恵まれました
2. 海岸沿いにもゴミがいっぱいありました
3. 文化会館の清掃① 4. 文化会館の清掃②

9月29日(金)垂水高校の全校生徒239名が、学校を中心とした中央地区において、一斉に美化活動を行いました。

今年度は、「自分たちの町は自分たちの手で」という観点から、生徒会が中心となって行われました。生徒たちは、日差しが照りつける中、自分たちの五感で地域を感じ取りながら、また楽しむことも忘れずに活動を進めていきました。

井ノ上校長は、「自分さえよければいいという風潮の中で、他人のために行うボランティア活動が、生徒たちの心を豊かにすると信じています」と生徒の成長を心から願っていました。

高校では、今後も、生徒がより豊かな心を育むような活動を積極的に行くとのことです。

■清掃内容

- ・1年生 垂水市文化会館内除草作業
- ・2年生 国道220号線より学校側
- ・3年生 国道220号線より海岸側
- ・活動時間 午後1時30分～午後3時30分

城山団地敬老会

いつまでもお元気で



1・3. みんなと指相撲
2. 賞状「元気で賞」と前田敬老会長
4. みんなで肩たたき

9月24日(日)城山団地にて毎年恒例の敬老会が開催され、主役の「すこやか城山敬老クラブ」28名が、子どもたちを含む関係者約20名からお祝いを受けました。

子どもたちからのお祝いの言葉で始まった敬老会は、指相撲や肩たたき、歌と踊りとマジックショーが行われ、最後には、子どもたちから「元気で賞」という賞状が手渡されました。

前田敬老会長は、「77歳。まだまだ若いけど老人に仲間入りしました。事故等に気をつけながら、1日1回は運動して太陽の光を全身に浴びて、これからも様々なことに精力的にがんばっていきたい」と話されていました。

城山団地では、これからも敬老会や各種行事を通して、子どもと大人のみならず地域の振興を深めて行きます。

■すこやか城山敬老クラブ

・会員数 32名(平成18年9月24日現在)